

(1) 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）	
① 合目的性・公平性・効果性	設置目的に沿って、地域住民のコミュニティ活動の場としての利用が図られた。また、利用者の利便性を考慮して、電話での仮予約受付など、市民が平等に利用できるための確保に努められた。
(2) 業務内容	
① 機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）	<p>地域住民のコミュニティ活動の場として適切な機能を維持するため、清掃や設備の点検など適切に実施された。</p> <p>加工員同士で相互に研修（新人研修や加工指導）、また月1回意志統一を図るための会議を実施している。また今後、郷土料理のレシピ集作成を検討し、伝統継承や地域を盛り上げる取り組みを企画している。</p>
② 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）	指定管理者の美里吾平コミュニティ協議会と町内会がよく連携を取り合い、地域住民全員で施設を管理する体制がとれた。
③ 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）	指定管理者である美里吾平コミュニティ協議会が施設の光熱水費、修繕料等、管理経費の適正な事務執行に努めた。
④ 安全性（安全管理、緊急時等の対応）	<p>加工センターについて、衛生管理の観点から、害虫駆除を実施する。</p> <p>また、施設利用日の最終確認のほか、定期的な見回りを行い、緊急時の連絡先を表示するなど安全管理に努めた。</p>
⑤ 社会性（環境等への配慮）	利用者に対し張り紙等を行い節電に心掛けた。また、町内会住民による定期的な除草や、花壇の植え替え等環境美化活動も行っている。
(3) 事業収支	
① 経済性	消費税の増税により管理経費の増加が見込まれるため、今後も更に効率的な支出に努めていかなければならない。
(4) 団体の経営状態	
① 経営の健全性	指定管理者は任意の地域コミュニティ組織であり、市からの交付金で運営を行っており、非営利組織である。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市神野地区ふれあいセンター（吾平町麓 5290） S61. 2. 28 鹿屋市鶴峰東地区ふれあいセンター（吾平町上名 5985-5） H16. 11. 25 鹿屋市鶴峰中地区ふれあいセンター（吾平町上名 531） S58. 2. 15 鹿屋市鶴峰西地区ふれあいセンター（吾平町上名 3771-7） H17. 3. 29 鹿屋市中央東地区ふれあいセンター（吾平町麓 2494-1） H16. 3. 1 鹿屋市中央町地区ふれあいセンター（吾平町麓 3567-1） S60. 11. 22 鹿屋市中央麓地区ふれあいセンター（吾平町麓 2910） S61. 3. 15 鹿屋市中央西地区ふれあいセンター（吾平町上名 1600-2） H16. 12. 21 鹿屋市下名東地区ふれあいセンター（吾平町下名 311-4） H17. 12. 1 鹿屋市下名西地区ふれあいセンター（吾平町麓 560） H17. 12. 1			所管課： 吾平総合支所 住民サービス課
所在地	上記のとおり	設置年月日：上記のとおり		
設置目的	市民が自主的に発意し、相互に協力しあって、市民自身の日常生活を創造し市民福祉の向上の場とすること。			
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市吾平ふれあいセンター条例			
施設の概要	設備の概要	敷地面積	神野 4,855.39 m ² 鶴峰東 955 m ² 鶴峰中 1,384 m ² 鶴峰西 1,703 m ² 中央東 1,409 m ² 中央町 812 m ² 中央麓 1,799 m ² 中央西 1,987 m ² 下名東 4,395 m ² 下名西 1,440 m ²	
		延床面積	神野 1,119.21 m ² 鶴峰東 190 m ² 鶴峰中 268 m ² 鶴峰西 193 m ² 中央東 197 m ² 中央町 395 m ² 中央麓 173 m ² 中央西 193 m ² 下名東 195 m ² 下名西 195 m ²	
	事業概要	有料施設 (1) 地域活性化のための話し合いの場、地域活動の拠点施設となっている。		

2 経済分析評価指標

① 事業収支	461 千円	④外部委託費比率	15.2%
②利用料金比率	2.0%	⑤利用者あたり管理運営コスト	457.7 円
③人件費比率	51.4%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	476.7 円

※ 小数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	特に定めない（365日）	653日
開館時間	午前8時30分～午後10時	午前8時30分～午後10時
事業開催	該当なし	該当なし

4 利用実績

項目		実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
貸出し利用回数	会議室他	数値として計上していない	747件
施設利用人数	会議室他	〃	14,690人
相談件数		〃	0件
講座参加者数		〃	0人
合計	総件数		747件
	総利用者数		14,690人

5 事業収支

(単位：千円)

項 目		実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
施設利用収入	会議室他	1 4 5	1 4 2
その他料金収入			
自主事業収入			
指定管理料		6, 3 6 7	7, 0 0 3
その他収入			3 9
収入計（A）		6, 5 1 2	7, 1 8 4
事業費			
人件費		3, 3 3 4	3, 4 5 6
修繕費		9 7 2	1, 0 5 8
通信運搬費			
施設管理費			
印刷製本費			
光熱水費		1, 0 7 4	9 8 3
委託料		9 2 9	1, 0 2 1
保険料			
賃借料		3 6	3 9
手数料		6 5	6 0
消耗品費		6 5	6 6
燃料費		3 7	1 6
租税公課費		0	2 4
支出計（B）		6, 5 1 2	6, 7 2 3
収支（A）－（B）		0	4 6 1

施設概要調書

1 施設の概要

施設名	下名地区生活改善センター		所管課：農林水産課	
所在地	鹿屋市吾平町下名72番地1		設置年月日：H2.8.1	
設置目的	農業経営技術の研修、村づくり農村生活環境の改善等を図るとともに、地域住民の連帯意識を高め、地域の総合的な発展を期するため			
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市吾平生活改善センター条例 鹿屋市吾平生活改善センター条例施行規則			
施設の概要	設備の概要	敷地面積		297㎡
		延床面積		163㎡
		《有料》 (単位：円)		
		8:30～12:00	12:00～17:00	17:00～22:00
	研修室	270	400	470
	生活改善調理 研修室	1時間当たり440		
	洗濯・乾燥	毛布、コタツ敷布及び布団類1行程につき650		
事業概要	地域の農業者及び地域住民の健康増進、地域連帯感の醸成並びに農村生活の改善合理化を図る。			

施設名	吾平地区生活改善センター		所管課：農林水産課	
所在地	鹿屋市吾平町麓3567番地1		設置年月日：S60.11.2	
設置目的	農業経営技術の研修、村づくり農村生活環境の改善等を図るとともに、地域住民の連帯意識を高め、地域の総合的な発展を期するため			
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市吾平生活改善センター条例 鹿屋市吾平生活改善センター条例施行規則			
施設の概要	設備の概要	敷地面積		812㎡
		延床面積		395.20㎡
		《有料》 (単位：円)		
	調理室	1時間当たり440		
	事業概要	地域の農業者及び地域住民の健康増進、地域連帯感の醸成並びに農村生活の改善合理化を図る。		

施設名	神野地区生活改善センター		所管課：農林水産課	
所在地	鹿屋市吾平町麓5791番地1		設置年月日：H6.4.1	
設置目的	農業経営技術の研修、村づくり農村生活環境の改善等を図るとともに、地域住民の連帯意識を高め、地域の総合的な発展を期するため			
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市吾平生活改善センター条例 鹿屋市吾平生活改善センター条例施行規則			
施設の概要	設備の概要	敷地面積		819.30㎡
		延床面積		162㎡
		《有料》 (単位：円)		
		8:30～12:00	12:00～17:00	17:00～22:00
	研修室	270	400	470
	生活改善調理 研修室	1時間当たり440		

		洗濯・乾燥	毛布、コタツ敷布及び布団類 1行程につき650
	事業概要	地域の農業者及び地域住民の健康増進、地域連帯感の醸成並びに農村生活の改善合理化を図る。	

施設名	鶴峰地区生活改善センター		所管課：農林水産課
所在地	鹿屋市吾平町上名531		設置年月日：S58.2.15
設置目的	農業経営技術の研修、村づくり農村生活環境の改善等を図るとともに、地域住民の連帯意識を高め、地域の総合的な発展を期するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市吾平生活改善センター条例 鹿屋市吾平生活改善センター条例施行規則		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	1,384㎡
		延床面積	257.90㎡
		《有料》 (単位：円)	
		生活改善調理研修室	1時間当たり440
	洗濯・乾燥	毛布、コタツ敷布及び布団類 1行程につき320	
事業概要	地域の農業者及び地域住民の健康増進、地域連帯感の醸成並びに農村生活の改善合理化を図る。		

2 経営分析評価指標

① 事業収支	229,006円	④ 外部委託費比率	13.7%
② 利用料金比率	11.4%	⑤利用者あたり管理運営コスト	4531.8円/一人
③ 人件費比率	47.7%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	4146.9円/一人

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
開館日数	特に定めない (365日)	738日
開館時間	8:30~22:00	8:30~22:00
事業開催		定例会議 消防点検 施設・設備点検 施設内外清掃

4 利用実績

項目	実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
貸し室等利用回数		538件
施設利用人数		1,538人
相談件数		0件
講座参加者数		0件
合計		1,538人

5 事業収支

(単位：千円)

項目	実施計画(事業計画書より)	実施内容(実績)
貸し室等利用収入	777	821
その他料金収入		
自主事業収入		
指定管理料	5,706	6,378
その他収入		913
収入計(A)	6,483	7,199
事業費		
人件費	3,407	3,326
修繕費	578	621
通信運搬費	91	217
施設管理費		
印刷製本費		
光熱水費	896	916
委託料	827	956
保険料		
租税		
雑費		
管理費	684	934
支出計(B)	6,483	6,970
収支(A) - (B)	0	229

指定管理者自己評価表

令和 3 年 5 月 25 日

指定管理者 美里吾平コミュニティ協議会

施設名 吾平ふれあいセンター

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	3・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	3・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	3・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	3・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	3・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	3・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	3・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	3・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	3・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	3・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・2・1
総合評価 (所感)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用手続きと安全、防犯、清掃等は町内会長に委託し適切に管理されている。 ・コロナウイルス感染対策に注意しながらの利用となっている為、施設の利用控えも多い現状である。 ・浄化槽の故障のためトイレが使用できない施設が発生してしまった。（仮設トイレ設置対応） 	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。

指定管理者自己評価表

令和 3 年 5 月 25 日

指定管理者 美里吾平コミュニティ協議会

施 設 名 吾平生活改善センター

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	3・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	3・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	3・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	3・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	3・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	3・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	3・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	3・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	3・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	3・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・2・1
総合評価 (所感)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員の適切な指示のもと、衛生・安全・防犯の対策が適切になされている。 ・コロナウイルス感染対策に注意しながらの利用をお願いしている。 ・高齢者の利用控えもあり利用が減少している。 	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。